

令和7（2025）年度みよし市地域自立支援協議会
第3回全体会 次第

日時：令和8（2026）年3月23日（月）
午前10時から正午まで
場所：みよし市役所3階 研修室1，2，3

1 あいさつ

2 協議事項

（1）令和7（2025）年度のみよし市地域自立支援協議会について

運営会議の事業報告、意見交換

地域生活支援拠点検討チーム事業報告、意見交換

人材育成検討チームの事業報告、意見交換

暮らしの場検討チーム事業報告、意見交換

児童部会の事業報告、意見交換

就労支援部会の事業報告、意見交換

精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

（2）地域生活支援拠点等の整備について

3 その他（各機関からの連絡事項など）

令和7（2025）年度みよし市地域自立支援協議会
第3回全体会 参加者

構成員の分類	所属先	職名	氏名
市内障がい者相談支援事業所	社会福祉法人あさみどりの風	理事長	熊谷 かの子
//	社会福祉法人みよし市社会福祉協議会	次長兼 地域福祉課長	村松 正憲
市内障がい福祉事業所	しおみの丘	管理者	松平 幸彦
//	泰山寮	施設長	近藤 高史
//	特定非営利活動法人いきもの語り	管理者	水井 貴子
//	一般社団法人みよしはたらく協議会	法人事業統括	小西 浩文
市内障がい当事者団体	みよし市身体障害者福祉協議会	会長	前澤 晏
//	みよし市手をつなぐ親の会	会長	岸野 佳江
就労・雇用の関係機関	豊田公共職業安定所	所長	松下 昇
//	西三河北部障がい者就業・生活支援センター	室長	市川 繁夫
保育・教育・療育の関係機関	豊田市こども発達センター	地域療育相談室 長	上里 初志
//	愛知県立三好特別支援学校	進路指導主事	岡田 倫和
//	豊田市立豊田特別支援学校	—	—
保健・医療の関係機関	みよし市民病院	地域連携・ 医療相談室 社会福祉士	阿部 優奈
行政機関	愛知県豊田加茂福祉相談センター	次長兼 地域福祉課長	小林 容子
//	愛知県衣浦東部保健所	主査	新美 萌子
//	みよし市教育委員会	指導主事	黒田 弘子
相談支援地域アドバイザー	むもん生活支援センター	センター長	阪田 征彦

事務局	職名	氏名	部会等事務局	職名	氏名
みよし市役所 福祉部	次長兼福祉課長	浅井 謙一	地域生活支援拠点等整備 検討チーム	事務局	堤 智香
	福祉課副主幹兼 暮らしの場検討 チーム事務局	清水 慎太郎	人材育成検討チーム	事務局	秋田 雅治
	福祉課主事	立石 恵莉	児童部会	事務局	中村 美香
			就労支援部会	事務局	深田 明男
			精神保健福祉部会	事務局	江川 裕美 山下 宏恵
			医療的ケアさぽーと部会	事務局	川北 小有里
					園田 奈緒子

令和7(2025)年度
みよし市地域自立支援協議会
第3回全体会

(1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

ア 運営目的

市の障がい者福祉に関する課題のうち、行政で取り組むこと、協議会で取り組むことを整理し、協議会の方針を決める。

イ 具体的な取組状況

①相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を基幹相談支援センターから受ける。

地域課題の解決に向けて、どのように取り組むか協議する。

必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。

運営会議での課題の報告及び検討方法について、基幹会議で検討した。

また、基幹相談支援センター担当から、相談支援事業等（個別支援会議等）で確認できた地域課題の報告を受けた。詳細は、別紙資料（当日配布資料）のとおり。

②必要に応じて、各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。

運営会議において、各専門部会及び検討チームの取組状況を確認した。

詳細は、下部ウのとおり。

③各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。

3月運営会議において、整理・共有を行った。詳細は下部ウのとおり。

ウ 会議での協議内容

時期	会議	内容
11月27日	第2回全体会	・令和7（2025）年度の各部会・チームの取組内容について意見聴取。 ・地域生活支援拠点等整備についてグループワーク。
12月4日	12月運営会議	・全体会ふりかえり ・協議会主催イベントについて協議。 ・11月の各部会・チームの動向確認。
1月8日	1月運営会議	・協議会主催イベントについて協議。 ・12月の各部会・チームの動向確認。
2月5日	2月運営会議	・協議会主催イベントについて協議。 ・1月の各部会・チームの動向確認、年間事業報告書について協議。

3月5日	3月 運営会議	<ul style="list-style-type: none"> • 協議会主催イベントについて協議。 • 2月の各部会・チームの動向確認、年間事業報告書について協議。 • 第3回全体会における協議内容の確認。
------	------------	--

エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> • 運営会議で地域課題の具体的な取組の協議ができるようにする。 • 各専門部会等が年間計画表に沿って滞りなく運営ができるよう、必要に応じて運営についての協議や助言を行う。また、他部会同士で協働した取組ができるよう、必要に応じて運営についての協議や助言を行う。 • 今後も継続して全体会の限られた時間の中で活発な意見交換ができるようし、構成員一人ひとりに我が事として捉えてもらえるような競技方法を検討する。
--

(1-2) 地域生活支援拠点検討チームの事業報告、意見交換

ア 運営目的

障がいの重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい児（者）の生活を地域全体で支える体制を構築する。

イ 具体的な取組状況

- ① 手引きを用いながら、拠点等整備の方針、取組をプレゼンテーションし、共通認識を持てるようにする。

地域診断表に基づき、市内事業所の取組を把握する。

地域生活支援拠点等整備コーディネーターの配置に向けて検討し、役割を明確化する。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月～2月	プレゼンテーション	市内障がい福祉サービス2事業所、おかよし地域包括支援センター職員及びCSW、民生児童委員にプレゼンテーションを行った。
11月～2月	地域生活支援拠点等整備コーディネーターの配置に向けた検討	地域生活支援拠点等整備に関するオンライン研修を受講し、同規模自治体の相談支援専門員と意見交換を行った。

- ② 地域診断表の評価項目のうち、緊急時の受入・対応、体験の場、専門的人材の確保・養成のレベルアップに向けて、各担当と協働する（暮らしの場検討チーム、人材育成検討チーム、基幹相談支援センター各担当）。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月～2月	暮らしの場検討チーム及び人材育成検討チームへの参画	・専門部会等に参加し、拠点等整備に関わる取組を確認した。 ・地域生活支援拠点等整備に必要な5つの機能である②緊急時の受入④専門的人材の確保・養成について検討した。
11月	全体会での意見交換	第2回全体会で、「相談」項目のレベルアップに向けてグループワークを行った。

- ③ 防災活動を通じた地域づくりについて、おかよし地域における取組に参画する。

おかよし地域の取組を自立支援協議会構成員に報告し、共有する。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月～2月	『mochimochi』への参加	防災イベントの開催や防災の定期的な情報誌の作成について検討した。

ウ 今後の方向性

- 地域生活支援拠点については今後も継続して周知、啓発を行う。
- みよし市のコーディネーター機能について、コーディネーターの配置を視野に検討を行う。
- 地域生活支援拠点等整備に必要な5つの機能の他項目のレベルアップに向けても検討が必要。
- おかよし地域以外の防災活動の現状や課題を確認する必要がある。

(1-3) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

ア 運営目的

障がい福祉従事者がソーシャルワークを意識して、業務に取り組めるようになる。

イ 具体的な取組状況

- ① 市内の障がい福祉従事者から研修委員を募り、研修を企画・運営するための具体的なプロセスについて学ぶ機会を設ける。

昨年の研修委員の事業所の課題をリサーチし、事業所内の研修と一緒に組み立てていく。

人材不足やはたらき方改革等の理由から事業所としては職員を派遣するには負担が大きいことがわかり、今年度の研修の開催を見送った。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月12日 12月16日 1月28日	研修委員 事業所への ヒアリング	みよし市社会福祉協議会、おーけーらいふ、ドリームアップに訪問し、管理者及び研修委員から昨年度の研修を運営した効果と課題を確認した。

- ② 各事業所のビジョンと地域の課題を共有し、話し合うための場として管理者対象の研修を開催する。

市内障がい福祉従事者が気軽に意見交換できる機会を設ける。

【取組内容】

時期	取組	内容
12月23日	第1回 管理者研修	「防災」をテーマに、防災安全課からみよし市の災害時の初動体制についての講演を聴き、その後事業所同士の連携についてグループワークを行った。
1月14日	第2回 管理者研修	災害時に向けた事業所間の具体的な連携強化方法についてグループワークを行った。
2月20日	事業所懇親会	市内障がい福祉事業所の職員同士の交流ができる場として開催し、50名が参加。参加者の9割以上から気軽に参加できたと回答があった。

③ 強度行動障がい者（児）への他市町の取り組みをリサーチする。

【取組内容】

時期	取組	内容
12月23日	伴走型コンサルテーション事業の視察	豊田市担当者からのヒアリングで情報を得た県の伴走型コンサルテーション事業を利用している事業所の視察を行った。

ウ 今後の方向性

- 研修の在り方を見直し、ソーシャルワークの視点を意識した研修を検討する。
- 具体的な取り組みを通して事業所間の連携強化を図る。
- 事業所同士のつながりの中で強度行動障がい者児の支援体制を強化する。

(1-4) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

ア 運営目的

障がい者（児）が、地域で安心して生活を送ることができる仕組み（緊急時の受入れ体制、暮らしの場の確保、宿泊体験の場・機会）を構築する。

イ 具体的な取組状況

①事業所が対象者を受け入れるにあたり、必要な情報が得られるようなシートを作成する。

シートを基にシミュレーションを行い、課題を確認する。

新たな受入れ先を確保する。

みよし市地域自立支援協議会が定義する「緊急時」とは…

日中・夜間問わず、本人又は家族等では対応できないような緊急の事態

【取組内容】

時期	取組	内容
～1月末	緊急時受入れシミュレーション準備	<ul style="list-style-type: none">・実施事業所選定・シナリオ、役割分担表作成・対象者依頼、利用者シート作成等
2月4日 2月9日	緊急時受入れシミュレーション実施	<ul style="list-style-type: none">・緊急時受入れ協定締結事業所による受入れシミュレーションを実施（オルオル、おひさまハウス）
2月26日	第3回WG	<ul style="list-style-type: none">・緊急時受入れシミュレーションのふりかえり（課題、改善案の共有）・次年度の実施事業所決定（秋：さくらの丘、冬：泰山寮）

②居住支援協議会設置に向けて、関係部署の協議に参加する。

居住支援協議会設置準備の状況を自立支援協議会構成員に報告し、共有する。

【取組内容】

時期	取組	内容
随時	研修参加	居住支援協議会設置に関する研修に各担当が参加
1～2月 (計2回)	居住支援協議会設置に向けた検討	<ul style="list-style-type: none">・福祉課、生活環境課、生活困窮者自立相談支援担当による打合せ・事務局、次年度の体制等を決定
2月	情報共有シート、対応フロー作成	居住支援に係る諸様式の整備

3月上旬	協力依頼等	不動産仲介業者に次年度の取組を説明し、協力を依頼
------	-------	--------------------------

- ③相談支援専門員等に、障がい者（児）が生活体験を行うにあたって必要な場や機能に関する調査を行い、現状と課題を整理する。
市内で生活体験を行うことのできる場や機能等を一覧にまとめる。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月19日	泰山寮との意見交換	泰山寮（施設入所支援）として、生活体験のために必要な機能等を聴き取り
3月	調査・一覧の作成	<ul style="list-style-type: none"> 市内にある生活体験を行うことのできる場や機能等の調査 一覧の作成

ウ 今後の予定

<ul style="list-style-type: none"> 今回のシミュレーションで明らかになった課題を改善するとともに、次年度もシミュレーションを継続。各事業所の受入れ・対応フロー及び利用者情報シートをブラッシュアップし、精度を高める。 令和8（2026）年度は、重層的支援体制整備事業の一環として居住支援プロジェクトチーム（仮）を設置予定。委託相談支援事業所代表が構成員になるよう調整済み。 生活体験の場や機会に関するニーズ調査等を継続して行うとともに、市内で生活体験できる場や機能等の一覧を更新する。

(2) 児童部会の事業報告、意見交換

ア 運営目的

障がい児の早期発見とライフステージに応じた地域での生活を支援するための協議及び事業を行うことにより、障がい児の福祉、保健、保育及び教育を実施する関係機関の職員及び家族の療育意識を高め、障がい児福祉の向上を図る。

イ 具体的な取組状況

- ①令和6（2024）年度ワーキングにおいて保育課、ふたば及びことも相談課から提案のあった相互理解の取組と保育園等訪問相談事業の実施状況や効果の確認をする。

【取組内容】

時期	取組	内容
2月24日	第3回 児童部会	こども相談課が実施している1歳6か月健診及び保育園等訪問相談事業の成果の確認。

- ②保護者支援の取組における実態調査と課題の確認、保護者等のニーズを確認する（障がいのある子）。

みよし市手をつなぐ親の会が実施する「フリートーク」に参加し、保護者支援の機会として活用できるよう検討する。

【取組内容】

時期	取組	内容
12月～1月	保護者支援 アンケート	市内在住の障がい福祉サービスを利用している児童の保護者を対象に、保護者支援に関するアンケートを実施。
2月5日	第3回フリートーク	保護者同士での悩みの共有・先輩ママからの助言等。

- ③特別支援学校以外の高等学校（三好高等学校・衣台高等学校・日進高等学校）及び専門学校（山本学園・名古屋情報専門学校）へ進学する子の情報提供について、現状と課題を確認する。

課題を一覧にまとめ見える化し、対応策を検討する。

【取組内容】

時期	取組	内容
2月3日	特別支援教育連携 協議会	ヒアリングの結果を整理し、課題を提示した。

ウ 部会での協議内容 (資料 No.1)

時期	会議	内容
2月24日	第3回 児童部会	<ul style="list-style-type: none">• 相互理解の取組及び保育園等訪問事業の実施状況• 保護者支援• 学齢期における継続的な支援体制• 放課後等デイサービス連絡会• 5才児健診• 第1回、第2回グループディスカッションの振り返り• 部会で次年度取り組むべき課題

エ 今後の方向性

- こども相談課が主催する勉強会に相談支援専門員が参加。課題が抽出された場合は部会で提示する。
- 保護者支援アンケート結果から、卒業後の進路や就職又は生活について必要な情報が提供できる仕組みづくりを検討する。
- 学齢期の児童及び生徒について課題が抽出された場合は、特別支援教育連携協議会へ提示する。
- 放課後等デイサービス連絡会のサポートを行う。

(3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

ア 運営目的

働く意思を持っている障がい者並びに障がい者を雇用している企業または雇用しようとしている企業を支援するために、必要なシステムや事業等を協議・検討し、具体的に実施する。

イ 具体的な取組内容

- ① 共同受注システムのイメージを市内障がい福祉事業所で共有する。
他市の共同受注システムの現状と課題を確認する。
みよし市における共同受注システムについて協議を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
10月8日	第5回 福祉的就労 WG	他市（豊田市・瀬戸市）のヒアリング内容の共有及び今後の取組に向けた検討。
11月13日	第6回 福祉的就労 WG	就労支援部会での意見を踏まえた今後の取組を明確にするための意見交換。
1月16日	第7回 福祉的就労 WG	市内事業所話し合いの内容の検討。
1月27日	第8回 福祉的就労 WG	・市内事業所の現状と課題の共有。 ・共同受注システムの効果についての意見交換。
2月9日	厚木市ヒアリング (オンライン)	共同受注システム（窓口）の現状と課題の確認。
2月24日	第9回 福祉的就労 WG	3か年計画の見直し案の検討。

- ② 特別支援学校以外の高等学校（三好高等学校・衣台高等学校・日進高等学校）、専門学校（山本学園・名古屋情報専門学校）における進路支援の現状と課題を確認する。
特別支援学校、高等学校、専門学校における進路支援に関する課題を共有し、解消に向けて協議を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
1月19日	事務局会	特別支援学校、一般高校、専門学校における進路支援の課題を明確にした。

- ③ 部会会議で、障がい者就労支援事業担当者からの報告を受ける。
必要に応じて、課題の解消に向けた協議を行う。
就労選択支援の円滑な実施に向けて調査、検討を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
2月18日	第3回 就労支援部会	令和7（2025）年度の下半期実績の報告。

ウ 部会での協議内容 （資料 No.2）

時期	会議	内容
2月18日	第3回 就労支援部会	<ul style="list-style-type: none"> 福祉的就労WGの報告及び3か年計画の修正の提案。 一般高校や専門学校における障がい者雇用の現状について共有。 令和7（2025）年度障がい者就労支援事業の下半期実績の報告。 みよし市版就労アセスメントフロー図の共有及び就労選択支援についての意見交換。

エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 福祉的就労WGの3か年計画を見直した上で、みよし市における共同受注システムについて市内事業所も含めて協議する。 特別支援学校、一般高校、専門学校との情報共有及び特別支援学校における就労支援の手法を共有できる機会を持てるよう検討する。 就労選択支援事業について、市民への負担がないよう今後も検討する。 7つの地域課題について部会で取組状況を報告し、課題解決に向け協議する。
--

(4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

ア 運営目的

精神保健福祉の関係機関が連携し、精神障がい者が地域で安心して生活していけるよう、支援システムを構築する。

イ 具体的な取組状況

- ①ピアサポーターとして活躍する新たな人材の発掘のために、啓発を目的としたイベントを開催する。

ピアサポーターが活躍できる機会の開発、ピアサポーター活用のための啓発活動を行う。

ピアサポーターを支える仕組み（登録方法・派遣の流れ・報酬の規定等）作りを行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
1月20日	令和7年度精神障害者ピア活動支援研修	県主催の研修にみよし市のピアサポーター新規2名を含む3名が参加。
11月～3月	第7回～12回ピアサポーターミーティング	・ピアサポート体験会の打ち合わせ。 ・次年度の活動の検討。
2月22日	ピアサポート体験会	ピアサポーターとして活躍する人材の獲得を目的に開催し、4名が参加。

- ②R6年度に作成した入退院時のフロー図を基に、医療機関と地域の支援者が連携し、課題を確認、修正を経てフロー図を完成する。

福祉事業所の現状と課題を確認し、対応策を検討、実施する。

ひきこもり支援連絡会に参加して課題を確認し、自立支援協議会構成員に報告、共有する。

【取組内容】

時期	取組	内容
2月20日	ひきこもり支援連絡会	8050問題支援の取組及び義務教育以降の若者を支援につなぐ仕組みについて情報共有。
3月3日	精神疾患についての情報交換会	精神疾患がある方への対応についての情報交換を行い、就労系事業所4事業所が参加。

③各関係機関が把握したひきこもり世帯へのアプローチに協力し、当該世帯へ社会資源等の必要な情報を届ける。

【取組内容】

時期	取組	内容
随時	ひきこもりケース対応	ひきこもり支援連絡会構成機関とケース共有し、問題解決に向けての取組を行った。

ウ 部会での協議内容 (資料 No.3)

時期	取組	内容
2月25日	第3回 精神保健福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターミーティング、メンタルヘルスサポート体験会の報告。 精神疾患についての情報交換会の周知。 ひきこもり支援連絡会の報告。 令和7(2025)年度事業報告書について説明。 次年度の取組について。

エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターの育成及び伴走支援、活動調整等の役割を精神障がい者等サポート事業が担い、必要に応じて部会が後方支援を行う。また、ピアサポーターが活躍する場の開発及びピアサポーターを支える仕組み(登録方法・派遣の流れ・報酬の規定等)作りを行う。 医療と福祉の連携WGを年1回開催し、協力関係を強化する。 福祉事業所のワーキンググループを開催し、課題解決の方法を検討する。 ひきこもり支援連絡会へ課題意識を持って参加し、部会内で優先的に解決が必要な課題が発生した時は解決方法を検討する。 「こころのサポートガイド in みよし」を継続して関係機関へ配布及び周知する。 情報が届きにくい人に情報を届ける方法を検討する。
--

(5) 医療的ケアさぼーと部会の事業報告、意見交換

ア 運営目的

日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）（以下「医療的ケア児（者）」という。）及びその家族の住み慣れた地域での生活をサポートするために多職種が集まり、必要なシステムや事業などを協議・検討し、具体的に実施する。

イ 具体的な取組状況

①災害時に必要な物品リスト及び周知リーフレットを作成する。

医療的ケア児（者）の個別避難計画を作成し、必要に応じシミュレーションを行い、評価を行う。

【取組内容】

時期	取組	内容
2月13日	第3回 TND WG	・災害時の個人情報の取り扱い。 ・チラシ（案）作成。

②医療的ケア児（者）の一時的な受入れに向けて、市内医療機関との座談会を開催し、イベントにも参加する。

医療機関の不安事項等について明確にし、解決できる仕組みを作る。

【取組内容】

時期	取組	内容
11月19日	トヨタ記念病院視察	受け入れ方法や課題解消の取組について共有及び意見交換。

③医療的ケア児（者）が抱える課題の整理と情報共有を行い、部会の議題として提案する。

「医療的ケアが必要な方の情報ガイド」を NICU・GCU のある医療機関に周知する。

就園、就学に必要なフローチャートを作成する。

保育・教育の場で市内の仕組みや医療的ケア児の普及・啓発を各課で定例化する。また、市内事業所や訪問看護ステーションを対象に、連携強化を意識した研修を開催する。

【取組内容】

時期	取組	内容
12月9日	第3回 医療的ケア児等 コーディネーター WG	・部会で取り上げる課題の確認。 ・コーディネーターの任命。 ・市内に居住する医療的ケア児の情報共有。

12月12日	西三河北部・ 西三河南部東圏域 医療的ケア児等コー ディネーターフォー ーアップ研修	シンポジウム及び各市町のアクシ ョンプランの作成。
12月12日	西三河北部・ 西三河南部東圏域 医療的ケア児 支援連携会議	各市町の取組の情報交換及び課題 の確認。
1月21日	事業所向け研修会	・障がい福祉サービス及び自立支援 協議会、訪問看護の概要説明。 ・各事業所の強み紹介。
2月16	第4回 医療的ケア児等 コーディネーター WG	・就園就学に向けたフローチャート の確認。 ・保育園への看護師配置の報告。 ・市内在住の医療的ケア児等の情報 共有。
3月13日	教員向け研修会 (対象：教務主任)	・自立支援協議会及び医療的ケア費 給付事業について。 ・医療的ケア児コーディネーターの 役割について。

ウ 部会での協議内容 (資料 No.4)

時期	会議	内容
2月17日	第2回 医療的ケア さぼーと部会	・各WG等の報告。 ・事業報告書及び次年度の取組の報 告、意見交換。

エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の周知啓発を行う。また今年度実施できなかったシミュレーションを行い、課題解決に向けた取組を行う。 ・市内医療機関と連携し、受け入れに伴う不安を具体化し、課題解消に向け協働で取り組む。 ・今年度同様に医療的ケア児等コーディネーターWGを中心に、市内在住の医療的ケア児(者)が抱える課題の整理と情報共有とを行い、地域課題を意識し、部会に議題を挙げる。また、各ライフステージの研修をブラッシュアップした形で開催する。
